

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS.Clover



○事業所名	COMPASS.Clover		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 10日		R7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 34	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	R7年 9月 5日		R7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価作成日	R7年 10月 9日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認し、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくれる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所となるよう常に考えながら、決められたルールを遵守し取り組んでまいります。
2	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援がおこなわれております。	放課後等デイサービス計画も職員間に共有されており、計画に沿った支援が実施されております。	支援内容を具体的に把握し、児童の特性や個性への理解を深めていきより良い支援に繋げてまいります。
3	児童や保護者様からのお申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、そのような場があることについて周知・説明され、ご相談やお申し入れの際に迅速かつ適切に対応しております。	ご相談やお申し入れに対しては、ご家族様の状況に応じて、臨機応変に対応させていただいております。	ご相談やお申し入れに対しては、そのような場があることについて周知・説明をおこない、相談や申し入れがあった際には迅速かつ丁寧に対応してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しております。	対象児童がいないため、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合に、それまでの支援内容等の情報を提供する取組は現在おこなっておりません。	対象児童が利用していた場合は、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等してまいります。
2	職員の資質向上のため、社内外での研修機会を確保しております。	職員の資質向上のため、社内外での研修機会を確保しております。	利用児童の利便性に配慮し、全職員での会議は難しい状況ですが、利用人数等を鑑みながら研修機会を増やしていけるよう努めてまいります。
3	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会は今のところありません。	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会はありません。	保護者様からのご要望があれば前向きに検討してまいります。



公表日：令和 8年 3月 17日